

最後の水泳記録会

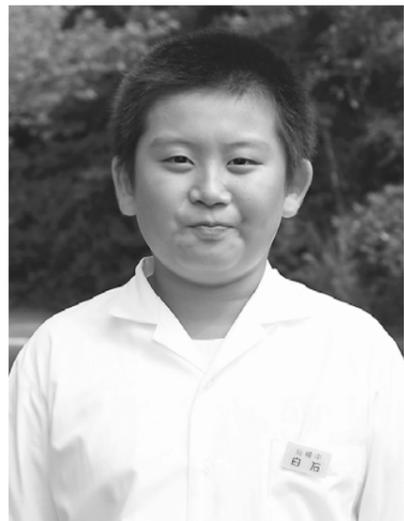
本校では、7月に遠泳大会と水泳記録会をします。今年の水泳記録会で、私は平泳ぎの100メートルと200メートルのリレーに出ました。遠泳をしているせいか、あまりつかれませんでした。でも、足のけり方をちゃんとしないと速く泳いでも意味がないので、そこを意識してなるべく速く泳ぎました。200メートルのリレーで、私は1番目に泳ぎました。とてもきつくて最後に少しおそくなりました。でも、他のチームより速かったのでうれしかったです。



品川 葵さん
(神田小学校6年)



記録会の様子



白石 迅さん
(仙崎中学校3年)

そしてこの後、今年悪天候でできなかった「遠泳」をやりました。神田小では、1キロを泳ぐ時黄色の水泳ぼうしをします。これをつける時、私は神田っ子だということをほこりに思い、最後の水泳記録会なので一生けん命泳ごうと思いました。記録会の後の遠泳で少しつかれていたけど、全校だれもが目標のきよりを泳ぎ切りました。私も海ではなかったけど、1キロ泳げてうれしかったです。次は、陸上記録会があるので、遠泳パワーでがんばります。

連絡帳

仙中体育祭を通して

僕たち仙崎中学校は、9月6日の日曜日、秋晴れの好天の下、多数の保護者の皆様や地域の方々をお招きして「第63回長門市立仙崎中学校体育祭」を盛大に挙行了しました。今年度は例年に比べ、体育祭当日までの日数が短く、練習日程も厳しいものでした。しかし、各分団(赤・白・青分団)ともに1年生は2年生を、2年生は3年生を手本とし、お互いの力を合わせて体育祭成功に向かって一生懸命練習に励みました。連日続く暑い日差しの下、お互いを信



体育祭の様子

頼し、最後まで頑張り抜きました。そのなかで僕たちは、一日一日と深まっていく生徒相互の「絆の強さ」を感じることができました。そして当日、僕たち128名は、来校された数多くの方々の前で、練習してきた総てを力一杯披露しました。皆の熱意が結集した感動あふれる体育祭となりました。僕は今、生徒と先生方が一丸となって素晴らしい体育祭を創り上げることができたことで、仙崎中学校はさらに力強く、前へ進んでいくことができる心から信じています。



伝統の守りの野球で 全国大会ベスト4!

大津高校 軟式野球部

ちょっと
小耳に



2回戦は、四国ブロック代表の土佐塾高校(高知)。1回戦と同様に序盤からリードを奪い試合を優位に進め、6対1で勝利。準決勝進出を決めました。準決勝の相手は、北関東ブロック代表の作新学院(栃木)。昨年の優勝チームで、これまで7度の優勝経験を持つ強豪校です。大津高は、ランナーを背負いながらも投手陣の粘り強い投球とバツクの堅い守りで相手の得点を1点に抑えましたが、打線が相手投手の好投の前にあと1本が出ず、得点を上げることができませんでした。0対1の惜敗。6年ぶりの決勝進出と

■出場選手等

	背番号	氏名	学年	出身中学
部長		原 文映		
副部長		田熊 直樹		
監督		永田 堅志		
主将	2	國光 諒	3	通
選手	1	金具 宏樹	3	大嶺
	3	藤本 啓貴	3	向津具
	4	松永 尚馬	3	深川
	5	永井功太郎	3	仙崎
	6	花表 孝亮	3	仙崎
	7	田村 和大	3	三隅
	8	米田 一也	3	向津具
	9	木村 俊貴	3	仙崎
	10	境谷 駿	3	深川
	11	池永 祥紀	3	日置
	12	中村 大熙	3	秋芳北
	13	杉村 裕希	2	日置
	14	村田 征則	2	通
	15	上利 誠人	2	秋芳北
	16	宇野 祐士	1	菱海
マネージャー		中嶋あずさ	3	菱海

3度目の大会制覇はかないませんでした。「7月から8月にかけてこれほど伸びたチームははじめて。選手達は全国大会という大舞台でも普段どおりの大津野球をしてくれました。選手達、そして応援してくださった皆さんに心から感謝したい」



主将の國光君は「全国制覇が目標だったので、達成することができず残念ですが、自分たちの野球はしっかりとできたとと思います。後輩達にはぜひ全国制覇を成し遂げてもらいたいです」と夢を後輩に託しました。



長門の People

第54回全国高校軟式野球大会が、8月25日から30日にかけて兵庫県明石市の明石公園野球場などで行われ、西中国ブロック代表として出場した大津高校軟式野球部が見事ベスト4に輝きました。大会には各地の予選を勝ち抜いた16校が出場。初戦の相手は、南東北ブロック代表の仙台商業(宮城)。3回に1イニング最多得点大会タイ記録となる6点を奪うなど大津打線が爆発し、11対1で圧勝しました。